

## グローバルの意味

「グローバル」や「グローバル化」という言葉は、比較的最近使われ始めた言葉ですが、実際にどのような意味か、わかりますか？

「グローバル化」と同じような意味を持つ言葉として、よく「国際化」という言葉が使われます。でも、グローバル化と国際化は似ているようで、違うのです。

「国際的な」という意味で用いられる international という言葉は国家を意味する nation という語に「間」という意味を持つ inter-が頭についた言葉で、国と国の関係を示します。つまり、国際化とはあくまでも「国家」という単位を前提として、その国家どうしが互いに結びつきを強めることをいいます。

一方、グローバルという言葉は、globe、つまり球、球体を意味する言葉が核になっています。グローバルという言葉には、この地球という星を1つとして見る世界観が凝縮されています。日本語では「世界的な」とか、「地球規模の」などと訳されます。

例えば、私たちがインターネットを使う時、「国境」を意識することなく、外国の人々と自由に交流したり、世界中の情報を探することができます。これもインターネットがグローバルにつながっているからこそです。

さて、皆さんは、「グローバル化」と聞いてどんなイメージを持ちますか？多くの人は良いイメージを持っているのではないのでしょうか？

グローバル化が進むと、良いこともたくさんあります。例えば、経済面では、私達がより多くの選択肢から最も良いものを選ぶことができるようになり、社会が効率的になったり、豊かになったりします。また、世界中の人々の交流がさかんになり、知識や技術の交換が進んだり、文化が発展する可能性があります。

一方で、グローバル化が必ずしも世界中のすべての人々を幸せにするわけではありません。

皆さんはチョコレートが好きですか？私たちがコンビニなどで気軽に買うことができるチョコレート。その原料となるカカオを作っているのはどんな人たちか、知っているでしょうか。

西アフリカの国々では、今でも多くの子どもたちが学校にも行けず、カカオ農園で、ものすごく安い賃金で、奴隷のように働かされています。皆さんはチョコレートを買うとき、少しでも安く買いたいですよね。企業は売上をのばすために、私達消費者の要求にこたえようと、様々なコスト削減をします。そ

のコスト削減のしわ寄せの影響を大きく受けるのは、発展途上国の生産者たちです。貧しい国の犠牲の上に、私たちの便利で豊かな暮らしが成り立っています。

また、グローバル化のマイナスの側面として、それぞれの地域特有の文化が破壊され、世界中が似たような、画一的な文化になってしまう、ということが言われています。

本来、それぞれの地域に特有の文化や生活様式があるわけですが、グローバル化によって、先進国、特にアメリカ的な価値観や生活様式が世界の隅々にまで進出し、その地域固有の文化を壊していると言われます。

たとえば、エジプトのギザでは、アメリカのピザのチェーン店がピラミッドとスフィンクスのすぐそばにその派手な店構えで進出し、サウジアラビアでは、イスラム圏の伝統的な民族衣装を着た女性たちが、アメリカの有名ハンバーガーショップの前に列をつくる光景を目にすることができます。

このように、グローバル化には光と陰、プラスの面とマイナスの面があります。貧しい国を犠牲にして先進国が豊かになり、先進国の文化や価値観によって世界を支配しようとする傾向があります。従って、単純にグローバル化を進めればよいのではなく、重要なことは、「どのようなグローバル化を目指すのか」ということです。皆さんには、是非このような視点を持っていただきたいと思います。